

デイサービスでは地域の皆さんの協力も得て、高齢者がいつまでも在宅で暮らせるようにさまざまな事業を展開しています(写真はデイサービスさくら)



し、4月から稼働しています。この施設は、下水道放流方式を採用し、全体を地域景観と融合させることで、河川環境や地域環境の向上に寄与しています。

健康福祉

元気で幸せに暮らせる
まちをめざす

市民のだれもが健康で明るく元気に生活できる社会の実現をめざし、健康日本21狹山市計画が策定されました。そしてこの具現化のため、各種の健康づくり事業、母子

保健事業・成人保健事業の実施と基本健康診査などの事後指導として生活習慣病予防事業、健康教育・健康相談事業に積極的に取り組んでいます。また、乳幼児健康診査や乳幼児健康相談・健康教育を通して、乳幼児の健全育成や育児支援に努めています。さらに、引き続き関係機関などと連携しながら、乳幼児の虐待防止を推進します。

現在、本格的な高齢社会を迎え、高齢者のニーズがさらに多様化しています。そのニーズに応えるため、第2期高齢者保健福祉計画に基づいた施策を進めています。元氣な高齢者対策として、老人クラブの仲間づくりやシルバー人材センターの支援も引き続き行います。また、在宅福祉の面でも生活援助員の派遣、ショートステイやデイサービス事業を実施するほか、できるだけ在宅で自立できるように住宅改修を助成し、おむつの給付や緊急通報サービスの充実なども行います。さらに、新たに家族介護者手当も支給します。権利擁護の視点からは、成年後見制度利用支援事業に加え、新しく、身寄りのない低所得高齢者への支援としての任意後見制度や、地域福祉権利擁護事業に対する利用助成も行います。一方サービス



家庭での子育てや子育てをしながら働く保護者を一層支援することで、将来を担う子ども達が、心身ともに健やかに成長することを願っています(写真は本文とは関係ありません)

子育てをしながら働く保護者が増加しています。こういったご家庭を一層支援するため、新しく御狩場小学校内に学童保育室を整備し、1学区に1学童保育室の設置を実現します。

また、家庭での子育てを積極的に支援するため、乳幼児情報センターを中心に、子育て相談や交流の場を一層充実させます。さらに、次世代育成支援対策推進法に基づき、狹山市次世代育成支援計画を策定します。

介護保険のサービスの質を向上させ、利用しやすい環境を整備するため、第三者が客観的に事業者などの状況を判断する、第三者評価システムの研究を行うとともに、ケアマネジメントの質の向上や給付の適正化を図るための取組みを実施します。

都市基盤

快適で魅力のある

まちをめざす

安全で円滑な交通を確保するため、都市の骨格を形成する主要幹線道路である国道や県道とともに、都市計画道路や一般市道の道路網の整備にも積極的に取り組ん

でいます。国道16号は鶴ノ木地区の4車線化に向け、用地買収もほぼ完了し、平成15年度から電線類地中化工事など埋設関係の工事に着手してきます。今年度からは4車線化の本線工事に順次着手される見込みです。東京狭山線は、国道16号から西武新宿線までの区間の連続立体化工事などを、今年10月完成を目標に県によって進められており、県道川越人間線から市道幹第48号線、第二学校給食センター(前)までの区間が、4月末に暫定2車線で完成予定です。また、都市計画道路柏原新狭山線は、柏原から、いるまがわ大橋を含めた国道16号までの区間が、今年7月末の完成をめざして進んでいます。狭山市駅電野線は用地買収がほぼ完了し、今年度から一部電線類地中化工事に着手する予定です、新狭山駅南口線も新狭山駅から県道中新田入間川線までの区間の早期完成に向け、引き続き用地取得に取り組んでいきます。

さらに、住みよい環境改善と地域の交通安全を図るため、交通渋滞の多い交差点の改良事業を進めるとともに、歩行者の安全確保のため歩道の整備にも取り組むなど、一般道の整備にも積極的に取り組んでいきます。

不老川の雨水対策は、平成14年

度に河川と入曽調節池がいつ水した経緯から、県で不老川改善プロジェクトを設置、市も協力して応急対策として入曽調節池の拡大などの事業に取り組んでいます。

市街地整備では、市の重要施策として狭山市駅西口整備の実現に向けて全力で取り組んでいます。現在、権利者で組織されている狭山市駅西口再開発協議会と市街地再開発事業の施行予定者である都市基盤整備公団との連携のもと、事業の基本的な枠組みや内容を構築した基本計画(案)を作成しました。そしてその概要を市民皆さんに広報さやまなどを通じてお知らせしたところです。

なお、この計画の主要事業である市街地再開発事業は、都市計画事業として実施し、5月に公聴会・縦覧などの都市計画法の諸手続きを実施します。

また、新都市機能ゾーンの整備も、市街地再開発事業を支援・促進する上で、現在施工中の(仮称)新都市線や学校跡地に位置づける転



工事中の東京狭山線(10月完成予定)を、奥富方面から国道16号に向けて眺めたところ

出希望者への公共代替地などを最優先に、整備を進めています。

狭山市駅東口土地区画整理事業は、現在、仮換地指定率が約78%となり、今後は骨格となる都市計画道路と区画道路の整備と併せ、建物移転を積極的に進めて、事業の早期完成に努めます。

上瀬瀬土地区画整理事業は、仮換地指定率が100%、使用収益率が77%となり、道路築造工事も

86%の進捗状況です。今年度末には笹井柏原線と日高線との交差点部の供用開始を予定しています。

水道事業では、清浄で安全な水を安定して供給するため、引き続き水道施設の適切な維持管理と配給水管布設などの管網整備を計画的に推進していき、効率的な経営に努めます。

また、下水道事業も、生活環境の改善や浸水を防ぐため、汚水対策として市街地調整区域第2期事業を進めます。そして雨水対策として、引き続き西河原雨水枝線整備事業と鶴ノ木洪水対策事業などの推進を図ります。

産業経済

活力のある産業を育てる
まちをめざす

地域産業の振興のため、「さやまインキュベーションセンター21」を拠点として市内地域企業や工業団地内企業との連携を促進するための事業を展開します。また、市内の中小企業を対象とした新規成長産業連携のための交流事業、中小企業経営支援相談事業、小規模事業経営支援事業を引き続き実施し、経営の安定や業績向上を支援します。さらに、商店街などのにぎわいと魅力創出を目的に、活性化